



菜園付近から南の方向を撮りました。

高麗山、湘南平が遠望できます。さらに南は大磯、湘南の海はすぐそこにあります。

広がる稲穂の左手、小高い所が菜園です。今年の夏は雨が少なく、強い日差しに照らされ、表土は砂漠のようでした。でも、雑草は繁ります。苦闘しました。



菜園の西側下に水田への水路があります。稲の生育には必須の用水です。のり面にはかや、やぶからし、名の知れない雑草がすぐに被い繁ります。

ハーブ・彼岸花・菖蒲を植えていますが、一部だけ、花のない季節は気を抜くと雑草に占領され尽くします。

農家の方に迷惑にならないよう、時折、除草に励みます。



雑草を刈り取った辺りに、彼岸花、年々花の数が増えているような気がします。

表面に植えたアジサイ、成長し花を付けました。実が熟すことを楽しみにしているイチジクの木は、右隅です。鳥についばまれた実が落ちていました。スイカと同じです。不思議です。人間より完熟度が分かるのですね。



菜園の西方向です。  
一段高い菜園から、周辺の広い田園が見渡せます。

既に紹介いたしましたが、晴れていれば大きな富士山が遠望できます。近くは東海大学の校舎、小田原厚木道路の平塚IC等々。

黄ばみ始めた稲穂は、豊作の予兆です。



緑のタンク二つ。平塚市推奨の「コンポスト」にサツマイモ、アスパラガス、ネギ、青シソ等です。

使い方は、まず、風に飛ばされないように、浅い穴に埋めます。ふたも紐をつけます。これで準備完了です。

家で出た「生ごみ」を運び、中に入れます。そのままだとコバエなどの虫が、自然発生しますので、スコップで細かく刻み、砂で全面を覆います。

これを繰り返し、ポストの中程までになった時、ポストを取り除きほかに移します。時間の経過とともに中身は堆肥と化し、畑にまくことが出来ます。

あまりたくさんの「生ごみ」を入れてしまうと、ポストを掘りだすのに苦労しますし、中のものが崩れてきます。入れ過ぎは禁物です。

我家では殆どの「生ごみ」を回収には出さずに済んでいます。これぞ菜園の恩恵でしょう。



### 「キャベツ三兄弟」

今夏はネット掛けをし、モンシロを防いだため、青虫が付きませんでした。

少しずつ食べ進み、今はこの兄弟が残っています。青々として、虫食いの跡もありません。

キャベツの巻き方は、外の葉が中に向け巻き込むのではなく、芯に新しい葉が成長してきます。中から巻くのです。





「オクラ」の花です。  
 実は刀のような形ですが、御覧のように可憐な花です。朝早く咲き、しぼみ、落下してしまいます。(美人薄命)  
 毎日、確実に咲き、実を付けます。成長が早く、取り忘れてしまうと大きな形になるとともに、中の種も大きく、食べる時に気になります。  
 ほどほどが大切ですね。

葉が写っていないので品種が判明しにくいと思います。以前、雄花を紹介した、「ズッキーニ」の雌花と花に続く実の部分です。

花がひしゃげていますが、実を食べるために人間が強制的に授粉させた跡です。可哀そうなことに、花の姿を見てとれない程、みじめな姿となりました。

数日後には、結実し食べることを待っています。



いち名「米ナス」と呼んでいます。kg単位にまで大きく育てた人がいました。写真ではまだ小振りです。水やりと追肥を続け、これからも収穫が楽しみです。

花です。今でも、数多くの花が咲き実を付けます。淡い紫色と黄色いおしべでしょうか、ひかえめに下を向いて咲きます。

ところが、花びらの先端や実のへたの部分には、鋭いとげがあります。花びらをよく見ると先端にとげが見えます。優しい花なのに なぜ・・・

刺さってとれず、病院へ行った人もいます。菜園を営む人たち、要注意です。



「ゴーヤ」です。大型の棚を作り、つるを延ばさせました。

今のところ台風の被害はなく、順調にというか大量に実を付けています。

奥には白色のゴーヤです。味は緑と変わりません。白は調理後、趣を変えてくれます。

今年は、ゴーヤのジャム、意外といけます。

実の姿に似合わず、可憐な黄花を付けます。写真にして気づいたのですが、ミツを吸いに小さな、小さな昆虫が飛んできていました。

「ズッキーニ」とは異なり、人手は無用です。



「ニラ」です。白い先端は花になる前、一般的に“花目”と呼びます。成長すると花になります。

我家ではこの花目を、茎ごともぎ取り食べます。レシピはおひたし、油いため、卵とじ、ホイル焼きなどの多彩な食べ方ができます。

調理には、新鮮なうちが勝負です。





ネットの中に種をまきました。右側は大根、2列です。しっかり伸びた双葉、下に写真を用意しました。

下仁田ネギ、延びに延びたゴーヤは柵を占領しています。

向こうの「べた掛け」には、ホウレンソウ、チンゲンサイ、かき菜の種を播き、乾燥を防いでいます。

ネットの中に蒔いた種は、発芽し新芽が出そろいました。



キャベツ・ブロッコリー3列、レタス2列、ハクサイ3列の多品種です。いずれも苗を育て、移植し定置し、大きくします。冬の寒い時期においしく食べられます。



生育の様子は、今後の菜園歳時記としてご紹介します。

良い報告ができるように頑張ります。



ダイコンの元気な双葉です。

気温、地温、土の湿り具合の3拍子がよく、3日間で発芽しました。

同じ場所にまとまったの新芽ですが、種を3個程度播きます。このままダイコンに育つと大変です。隣り合わせのひしめき合いになってしまいます。もう少し育ってから間引きをし、最後に元気な一本を残し、大きなダイコンにします。

ダイコンは菜花と違い移植はできません。

間引いた分は、おひたしやみそ汁の具にして食べます。